

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名：新潟地下開発株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・債務超過が発生しているため、策定したもの

○財政的リスクの状況（決算状況・千円）

	R2	R3	R4	目標達成年度 (R5年度) ※
債務超過額	▲378,570	▲398,909	▲425,021	—

※5年間で財政的リスクを解消できない理由及び改善方針

- ・テナントリーシングの強化や経費削減により、黒字転換を目指すものの、債務超過額が大きいことから、令和5年度までの債務超過解消は難しいものと見込む。

○主な取組状況（令和5年3月末現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的取組内容】

- ・新型コロナウイルス感染症による来客数減少の影響が落ち着き平時の経済活動を徐々に取り戻していくなか、消費者に当施設のテナントの魅力を訴求し、再び訪れてもらえる地下街を目指す。
- ・区画を有効利用し、来街者が休める滞留空間作りなどを進めることで、施設の活性化を図る。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための取組内容】

- ・販管費等の管理を徹底するほか、既存テナントとの賃料交渉など収益改善に向けた取り組みを一層進めるよう申し入れていく。
- ・収支計画および実績管理の徹底など、会社財務の安全性や流動性についてモニタリングを続ける。

○法人の財務状況（決算）

（貸借対照表より）（千円）

項目	R2	R3	R4
資産総額	720,486	749,165	738,567
流動資産	29,097	40,515	49,588
（うち現預金）	22,450	31,294	38,349
固定資産	691,389	708,650	688,979
負債総額	1,099,056	1,148,074	1,163,588
流動負債	101,777	172,528	114,899
（うち当該地方公共団体からの借入金）	90,000	90,000	0
固定負債	997,279	975,546	1,048,689
（うち当該地方公共団体からの借入金）	810,000	810,000	900,000
純資産額	▲378,570	▲398,909	▲425,021
資本金	100,000	100,000	100,000
剰余金	▲478,570	▲498,909	▲525,021

（損益計算書より）（千円）

項目	R2	R3	R4
営業収益	99,074	105,283	102,454
営業費用	139,081	140,769	142,676
営業損益	▲40,007	▲35,486	▲40,222
営業外損益	320	451	378
経常損益	▲39,687	▲35,035	▲39,844
特別損益	120	146	▲789
税引前当期損益	▲39,567	▲34,889	▲40,633
法人税等	8,450	14,550	14,521
当期損益	▲31,117	▲20,339	▲26,112